



## 校長室から

甘利 尚之

令和4年11月17日(木) No.22

### PTA 主催 「なんじゃもんじゃ祭」 に感謝



本校には、上田市指定の天然記念物「なんじゃもんじゃの木」があります。インターネット「上田市の文化財」には、次のような説明があります。

「昔、名前のわからない珍しい大木が太郎山の西方に連なる虚空蔵山〔こくぞうさん〕(標高約1000m)の頂上付近にありました。この地方では「ナンジャモンジャの木」と呼んで

親しまれていました。7月の初め頃にマメやフジの花に似たきれいな花が咲き乱れます。この植物は故小泉源一先生(京都大学教授)によって「マメ科のフジキ」であることがわかりました(大正十三年)。また塩尻小学校にある「ナンジャモンジャの木」は虚空蔵山の親木の種子から育ったもので二代目にあたります。～」

今年、しっかり花が咲きました。(写真参照)



その「なんじゃもんじゃの木」にちなんで、11月3日(木)、PTA主催の「なんじゃもんじゃ祭り」が、塩尻小で行われました。コロナ禍で中止となる前まで、毎年塩尻小の体育館、校庭を使って行われていた「どんどこ祭り」(バザー、模擬店、金管クラブ等の発表の場あり)にかわり、本年度のPTAが企画してくれたものです。最初は、「どんどこ祭り」と同じように、夏休み中の実施を計画していましたが、感染状況の悪化によって、この時期となりました。



高校3年生のパフォーマー「ツリネコメン」のオープニング、6年生の協力による「体験コーナー」「手作り品販売」、抽選会、最後は、塩尻商工振興会の皆様のご協力による打ち上げ花火で締めくくられました。



「非日常の楽しみ」があるからこそ、日常生活にも本気で取り組める、そんな子ども達のサイクルがあるとすれば、こういった催しの価値は、その日だけのものにはならないのだと思います。祭りを支えて下さった全ての方に感謝です。